

地域密着型ビジネス創出事業助成金採択事業

平成 20 年度第4回募集分

申請者	事業テーマ	事業概要
(株)大豆まるごと食品 代表取締役 長澤 要市 (松山市)	愛媛県産資源を活用する微粉碎事業及び豆腐の製造販売	特殊な技術を用いて微粉碎処理した大豆を使用することで、残渣物（おから）を発生させることなく、素材をそのまま活かした豆腐や豆乳粉を製造・販売するとともに、様々な県産品の微粉碎受託事業に取り組む。
中矢 健 (松山市)	瀬戸内の旬な鮮魚を使った漁師食の販売・加工事業	漁師が主体となって、漁獲から加工・販売までを手がける一貫型ビジネスモデルを構築し、食材のブランド化を図るほか、地元飲食店等とのネットワーク形成や地域の伝統的な販売方法である「オタタさん」の復活・組織化に取り組む。
下岡 一晴 (大洲市)	「陸上屋内循環法」によるアワビ陸上養殖生産プラントシステム販売事業	天候や自然災害に左右されず、軽作業での対応も可能な独自開発によるアワビ陸上養殖生産プラントシステムを販売するとともに、販売先に継続的に稚貝や餌の供給を行うほか、自社においてもアワビの養殖・販売に取り組む。
井関 智史 (西予市)	休耕田、耕作放棄地および転作田を活用した景観作物（菜の花、ヒマワリ）栽培・搾油・飼料化による循環型エコノミー事業	地域の課題ともなっている休耕田や耕作放棄地、転作田を活用して“ヒマワリ”“菜の花”を栽培し、食用油を製造・販売するほか、油かすを飼料・肥料として利用するなど、環境保全や地域振興を兼ね備えた事業を展開する。
田村 義孝 (伊方町 (旧三崎町))	佐田岬の農水産物を活用した新商品の開発および製造販売事業	地元の特産品（うに・金太郎いも・ちりめん・酒かす・みかんのフリーズドライ等）を活用した多様なオリジナル和洋菓子を開発し、物語性を付加した地域ブランド品として販売する事業を展開する。

[他の採択事業はこちら](#)